

カブトムシ観察 (報告者:道満)	活動ゾーン等	チーム編成	活動時間
	W(C)ゾーン	道満:1組・2組・3組 全員参加	9:30~12:00
1) 春の環境学習・・・「カブトムシの一生」の説明 ① 人間、ニワトリ、カブトムシの一生が違っていることを説明し、カブトムシは何段階もかけて成虫になること(変態)を理解させた。 ② 成長を時間スケールも入れて説明 ③ 実際に落ち葉中に潜っている幼虫を掘り出し、観察させる。 2) 食物連鎖; 土壌生物には目に見える生物とその糞を食べる見えない土壌生物について ① 土壌生物は落ち葉や動物の死体 昆虫などを食べるその為 森には汚物は残らない ② 土壌生物は粉碎した糞と水が植物の食べ物になり成長させる。 ③ 全員に堆肥庫からの枯れ葉ゾーンから 網に入れて 土壌生物を確認してもらった			
別件	1) ふりかえりシート 生徒用と先生用 について、後日頂く。(ケースお渡し済み) 2) 写真 3チーム まとめて 学校お渡し予定。		



#### 全体の

コメント ワイワイガヤガヤ・ピチクパアチクお喋り好きな新三年生105名達「かがやきの森」と「自然の森・山田道」の自然体験授業支援。山を歩きながら、見たり(森景観)聴いたり(潺・鳥・風)匂い(木・草・花)と触れたり(葉っぱ・木肌)。食物連鎖は樹木草の成長を支える土壌生物観察(やすで・ミミズ等)そのうんちを食べるバクテリア達のうんちが植物(樹木など)の食事(栄養素)などと説明。カブトムシの一生を堆肥庫内兜幼虫を生徒探し説明。昔生活の痕跡「山田道」と里山林再現した「かがやきの森」に案内・山田道に存在する幾段にもなる畑(稲作)痕跡・炭焼き跡、と生活の使用別樹木群落の景観。昔里山林から生活物資を取り出す為整備再生場の再現した「かがやきの森」景観など自然体験型授業一日でした。感想: 裏六甲の住んでいる学童が山遊び・昆虫採り体験がなく、かつては当たり前山や川の遊び場だったが、学童は山に入る事が初めて自然景観がに触れのも初めての子供が多く、驚きと生活感のギャップ感じた。 野外授業大好き生徒達、大いに楽しみながら実りある授業だったようです(先生評)

いろいろ反省など思いつつ今年春バージョン自然体験学習は終わった。

文責道満

